

**2024（令和6）年度
事業報告書
－ 総括的概要 －**

I 総 括 的 概 要

2024（令和 6）年度のわが国経済は、依然としてロシア・ウクライナ戦争や中東紛争など緊迫した国際情勢が続くなか、日銀のマイナス金利の解除をはじめ日経平均株価が史上初めて 4 万円台を記録したほか、賃上げ率も 33 年ぶりに 5%を上回るなど、賃金上昇と製品・サービス等への価格転嫁が進んだことで経済の好循環が回りはじめ、長く続いた「停滞」から「成長」への絶好の機会を迎えた。

一方で、円安の進行に伴う原材料・エネルギー価格の高騰や深刻な人手不足に起因する労務費の増加に加え、突如として表明された米国の関税政策の転換に伴う不透明感の増大など、中小・小規模事業者にとっては舵取りの難しい経営環境が続いた。

このような中、兵庫・神戸においては、2024 世界パラ陸上選手権大会の開催をはじめ、神戸ポートタワーのリニューアル、神戸須磨シーワールドの開業など、今後の観光・誘客に期待が高まる取り組みが続いた。

加えて、ヴィッセル神戸の天皇杯優勝及び J1 リーグ連覇を祝うイベントの開催のほか、プロバスケットボールチーム神戸ストークスの本拠地となるジーライオンアリーナ神戸と神戸空港の国際化を見据えた第 2 期ターミナルの建設などが進んだ。

1 月には阪神・淡路大震災から 30 年の節目を迎え、神戸ルミナリエは作品の規模を拡大して実施するとともに、関西財界セミナーが 20 年ぶりに神戸で開催され、企業・地域の防災力向上やポスト万博を見据えた関西の未来図について討議が行われた。

こうした状況の下、神戸商工会議所では、原材料や労務費のコストアップ分を製品・サービス価格に十分に転嫁できず苦慮する事業者の事業継続に向け、資金繰りや各種補助金申請への支援を行うとともに、国内外の販路開拓、ビジネスマッチングへの機会提供と実践型セミナー実施や展示会出展などを通じて成果創出に結びつけた。また留学生も含めた人材確保対策を実施したほか、デジタル化・DX 導入、生成 AI やメタバースなどの活用に資する支援を行った。

また、会員企業とスタートアップのイノベーション創出、異業種間のネットワーク構築に向け、神戸イノベーション・コミュニティや神戸イノベーション・リーダーズを設立したほか、市内製造業の振興を目的に長田区・西区を中心にオープンファクトリー事業も行った。

さらに開催を間近に控える大阪・関西万博の PR と神戸空港の国際定期便就航を見据え、川崎会頭による海外へのトッププロモーションを実施したほか、国・自治体に対して都心再整備や道路ネットワークなど都市基盤の早期整備を求めるとともに神戸医療産業都市の活性化に向けた事業も積極的に推し進めた。

今年度の主な事業は、以下の項目に掲げる通りである。

I. 中小企業の持続的発展の支援

1. 事業継続・承継・再生への支援

長く続いた「停滞」から「成長」への局面にある中、中小・小規模事業者の多くは、原材料・エネルギー価格の高騰や人手不足に加え、コスト上昇分の価格転嫁も満足にできず様々な経営課題を抱えていることから、市内 3 支部を核に事業継続・承継に向けた支援に取り組んだ。

経営指導員をはじめ中小企業診断士等の専門家を中心に会員事業所からの事業継続に向けた資金繰りや価格転嫁、補助金等に係る相談に応じたほか、新たな事業展開等を含め、電話・窓口相談や巡回指導、専門家派遣など、経営指導・相談を延べ 23,700 回行った。

また、国・県・市が実施する各種補助金や助成金申請支援にも取り組み、小規模事業者持続化補助金の申請に係る 110 件のサポートを行い、うち 38 件が採択された。この他、事業再構築補助金、起業家支援事業、事業継続支援事業等の申請サポートをはじめとした幅広い支援策の相談対応にあたった。

加えて、当商工会議所の推薦に基づき、日本政策金融公庫が実行する「小規模事業者経営改善資金（マル経融資）」を 241 件、17 億 410 万円推薦した。

さらに、兵庫県中小企業活性化協議会では、コスト高騰や人手不足など、依然として厳しい経営環境にある中小企業から 1,100 件の相談を受けた。事業存続を含め深刻な案件が多く、事業譲渡などの抜本再生や再チャレンジ支援の割合が増加し、支援完了件数は 148 件を数えた。

また、兵庫県事業承継・引継ぎ支援センターでは、事業承継が困難な中小企業者に対し、延べ 632 件の相談を実施し、親族内承継や M&A など 78 件の成約を得た。

【主な事業内容】

- ① 経営に関する相談指導（巡回相談 10,763 件/窓口相談 12,521 件/専門家派遣指導 106 件/総合専門相談室 310 件）
- ② 小規模事業者経営改善資金融資（マル経融資）の推薦・各種制度融資の斡旋（推薦・斡旋件数 356 件/推薦・斡旋金額 26 億万円）
- ③ 小規模事業者持続化補助金の申請支援（申請サポート 110 件/採択 38 件）
- ④ 兵庫県中小企業活性化協議会
 - ・ 中小企業再生支援（相談件数 1,100 件/再生計画策定支援完了案件 148 件）
 - ・ 経営改善計画策定支援（利用申請受付 49 件/支払申請受付 51 件/モニタリング申請受付（実施回数）121 回）
 - ・ 早期経営改善計画策定支援（利用申請受付 7 件/支払申請受付 12 件/モニタリング申請受付 42 件）
- ⑤ 兵庫県事業承継・引継ぎ支援センター（相談延べ件数 632 件/成約件数 78 件）
- ⑥ KCCI 創業塾 2024 経営実践セミナー（全 4 回/参加者延べ 191 名）
- ⑦ 次世代ビジネスリーダーのための経営戦略セミナー（全 5 回/参加者延べ 106 名）

2. 販路開拓・海外展開への支援



**販路拡大プロジェクト展示会共同出展
(9月)**

会員企業のマーケティング力を高めるため、昨年度に引き続き「販路拡大プロジェクト」を開催。ターゲットの分析手法や商品 PR のポイント、展示会の効果的な活用方法などのアドバイスを行った上で「FOODEX JAPAN2024 in 関西」に出展するなど、企業の販路拡大に資する支援を実施した。

また、業種や規模を限定せず、あらゆるビジネスマッチングの機会を提供する「兵庫・神戸アライアンス商談会」をオンラインで2回開催。加えて、

広域でのマッチングを図るため名古屋商工会議所・広島商工会議所の会員企業と交流するオンライン商談会を開催するなど、延べ412件の商談を行った。このほか、新規顧客獲得や売上増加を目指す小規模事業者を対象に、SNS等を用いたコンテンツの運用など実践的なWEBマーケティングの知識・導入方法を学ぶシリーズセミナーを開催した。

さらに、海外販路開拓の支援として、ベトナム優良企業とのオンラインビジネスミーティングをはじめ、ベトナム・ホーチミンのショッピングモールにおいて一般消費者への商品PRとテスト販売を行う「神戸ポップアップ出店事業」を実施した。そのほかにも神戸の食品関連企業を対象にパラグアイ及びブラジル等の安心・安全な日本産食品の普及拡大、食生活の改善に資するビジネスの可能性を探る「パラグアイ日系社会との連携調査団」の派遣や、初めて海外輸出を始める事業所向けに「海外展開支援セミナー」を開催したほか、米中など海外主要国の政治・経済情勢、利活用が進むRCEPや英文契約を学ぶセミナー等を開催し会員企業の国際展開を支援した。



**ベトナム・ホーチミンでの
神戸ポップアップ出店事業 (10月)**

【主な事業内容】

- ① 販路拡大プロジェクト（セミナー7回/工場見学ツアー2回/展示会出展/交流会/延べ参加人数302名）
- ② 兵庫・神戸アライアンス商談会-Online-（2回/マッチング数320社・延べ434件）
- ③ 神戸商工会議所×名古屋商工会議所×広島商工会議所オンライン商談会（マッチング数289社・412件）
- ④ WEBマーケティング講座（6回/参加者数36名）
- ⑤ ベトナムなど海外優良企業とのオンラインビジネスミーティング（45件/参加企業 日本側40社、ベトナム側13社）
- ⑥ 神戸ポップアップ出店による商品PR&テスト販売事業（来場者数510名）
- ⑦ パラグアイ日系社会との連携調査団（6社6名）
- ⑧ 国際ビジネス支援に関するセミナー（14回/参加者数延べ368名）
- ⑨ 国際ビジネス交流イベント（2回/参加者数221名）

3. 人材育成・人材確保の支援

人手不足が一段と強まっていることを踏まえ、企業の人材確保支援として県内の大学・専修学校の就職担当者が求人や学生の就職活動における情報交換を行う「企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE」をはじめ、求人票の書き方のアドバイスや新しい働き方の導入事例を紹介する「小規模事業者の人材確保・定着支援事業」を実施した。

加えて、「留学生向け合同企業説明会」や、企業と外国人留学生の相互理解を深める交流イベントを開催するなど多様な人材確保の機会を提供した。

また、昨年度に引き続き「KOBE OPEN FACTORY」を長田区周辺と西神工業団地内の2か所で開催し、一般市民を対象に工場見学やワークショップを実施した。各企業の従業員がものづくりの魅力を発信することで将来の企業間交流だけでなく、働くモチベーション向上や人材確保の一助につなげた。

さらに、各企業の将来人材の育成を目的とする「KCCI ビジネスセミナー」は、58 講座開催し、延べ1,192 名が受講したほか、個別企業向けに企画するオーダーメイド研修を19 件、研修動画をオンラインで配信する「中小企業 Web 研修事業」も105 社が受講した。

ビジネスの実践的な能力を評価し認定する検定・認定試験は、全体で18 種目を施行し、延べ14,558 名が受験した。



企業と外国人留学生との本音トーク！
(10月)

【主な事業内容】

- ① 留学生向け合同企業説明会（6月/出展企業76社 参加者710名）
- ② 小規模事業者のための人手不足対策支援セミナー（8月～令和7年2月/参加者数293名）
- ③ 中小企業のための「採用・育成・定着」課題解決セミナー（9月～11月/参加者数37名）
- ④ 企業と外国人留学生との本音トーク！（10月/参加者数10名、参加学生51名）
- ⑤ 企業とキャリアセンターとの就職情報交換会 in KOBE（10月/参加企業99社・参加学校20校/面談数352回）
- ⑥ 兵庫県合同就職面接会・企業説明会（6月・令和7年3月/出展企業80社/参加者数126名）
- ⑦ 中小企業の自己変革塾～新しい価値観に基づく変革に向けて～（参加者数延べ48名）
- ⑧ 開工神戸-KOBE OPEN FACTORY-（長田区周辺）（出展企業33社/来場者数6,000名）
- ⑨ 西神 made-KOBE OPEN FACTORY-（西神工業団地周辺）（出展企業27社/来場者数13,759名）
- ⑩ KCCI ビジネスセミナー（研修58講座/受講者数延べ1,192名/オーダーメイド研修19件/外部提携講座他9件）
- ⑪ 中小企業 Web 研修事業（受講企業105社/5,671アクセス）
- ⑫ 検定試験・認定試験（18種目/受験者数14,558名）

II. 新たな企業価値創造・イノベーション創出

1. 新事業・イノベーション創出支援

「ひょうご・神戸スタートアップエコシステムコンソーシアム」の参画メンバーとして、行政や支援機関、大阪・京都商工会議所と連携してスタートアップの支援に取り組み、スタートアップが自社の事業を紹介し、地元企業との協業を目指すピッチイベント「KCCI Startup Pitch&Meet」や、著名な企業経営者がスタートアップや起業を志す学生と意見交換する「企業経営者とスタートアップとの懇談会」などを実施した。



神戸イノベーション・コミュニティ
キックオフイベント（12月）

新たな取り組みとして、地元企業のイノベーション推進とスタートアップの育成を支援するため、主要企業の新規事業担当者を組織化した「神戸イノベーション・コミュニティ」並びに地元出身で自身も起業家として活躍する経営者による「神戸イノベーション・リーダーズ」を設立。会員企業とスタートアップのイノベーション創出や異業種間ネットワークの構築を支援した。

一方、神戸医療産業都市の推進では、神戸医療産業都市推進協議会などの関係機関との連携を通じて地元企業や進出企業・研究機関等に向けた情報提供に取り組んだ。その中で、医療産業都市における研究の成果や医療機器開発等の現状、今後の取り組みについての情報提供を目的に「神戸商工会議所×神戸医療産業都市シンポジウム」を実施した。

【主な事業内容】

- ① スタートアップピッチイベント（16回/参加者延べ1,329名）
- ② オープンイノベーション交流会（3回/参加者数71名）
- ③ 企業経営者とスタートアップとの懇談会（1回/参加者69名）
- ④ 新規事業担当者交流会（3回/参加者数122名）
- ⑤ スタートアップのサービスのテスト利用・実証事業（2回/利用者21名）
- ⑥ 神戸イノベーション・コミュニティ、神戸イノベーション・リーダーズの設立
- ⑦ デザイナーと企業のマッチング「つながり支援事業」（マッチング件数4件）
- ⑧ デザイナーとの交流事業（2回/参加者数71名）
- ⑨ ライフサイエンス振興懇談会の開催（7月）
- ⑩ 2024年度関西圏におけるライフサイエンス産業振興に係る要望（7月）
- ⑪ 神戸商工会議所×神戸医療産業都市シンポジウム（令和7年3月：参加者84名）

2. 中小企業の DX 導入と GX 推進に向けた支援

企業のデジタル化・DX 導入を支援するため、次世代産業委員会を中心に、生成 AI やメタバース、ドローンの活用等をテーマにセミナーを開催し、最新技術やツールの活用事例を紹介した。生成 AI の活用セミナーでは、参加者が自身の PC を用いて、会議の議事録や企画書の作成に取り組む実践的な機会を提供した。加えて、企業がデジタル化を進める上で活用可能な行政の支援施策に関する説明会や、個社の課題をヒアリングしそれに見合う IT ベンダーとマッチングする個別支援を行い、各社のデジタル化を促進した。



ドローンのビジネス活用セミナー
(8 月)

環境問題への対策や、脱炭素・カーボンニュートラルを推進する取り組みにおいては、行政の補助金や税制優遇等の施策を紹介する説明会を開催し、その活用を積極的に呼びかけたほか、行政や企業と連携した実証事業として「飲料用紙パックの回収キャンペーン」や専用の車載器を用いてクルマの CO2 排出量の可視化を行う取り組みを実施した。また、脱炭素化に向けて課題を持つ企業の個別相談等に対応した。加えて専用の WEB サイトを開設し、GX 支援事業や提携支援機関と共同して展開する会員事業所向けサービスを周知した。

【主な事業内容】

- ① デジタル化・DX 推進に関するセミナー（18 回/参加者数延べ 879 名）
- ② デジタル化・DX に関するマッチング・個別相談対応
- ③ 学生との協業で業務課題解決を目指す支援事業（5 社）
- ④ 脱炭素・GX 支援に関するセミナー（4 回/参加者数延べ 203 名）
- ⑤ 脱炭素・GX 支援に関するマッチング・個別相談対応
- ⑥ 環境省「脱炭素先行地域」への共同提案

Ⅲ. 神戸空港国際化と大阪・関西万博に向けた交流促進・都市機能強化

1. 神戸空港の国際化に向けた取り組みと都市基盤整備の推進

神戸空港は、旅客数において前年度比 5%増の 355 万人となり、前年度に引き続いて過去最高を記録するとともに、今後の国内線発着枠の拡大と国際化に伴って増加が見込まれる旅客需要に対応する新ターミナルの建設が進んだ。

このような中、国際チャーター便として、2025 年 4 月から大韓航空（韓国・仁川）、吉祥航空（中国・上海、南京）、スターラックス航空（台湾・台北、台中）が神戸空港への就航を発表し、3 か国 5 都市を結ぶ路線が週 40 便体制でスタートすることが決まった。

当商工会議所では、神戸空港の利用推進や、利便性向上に向けて就航都市商工会議所の訪問や視察の受け入れを行ったほか、「神戸空港利用推進協議会」の事務局として、神戸空港並びに就航エアラインの広報 PR や教育旅行・旅行商品の助成、周年イベント等を開催した。

また、高速道路ネットワークの整備推進として「関西高速道路ネットワーク推進協議会」に参画し、大阪湾岸道路西伸部をはじめとする関西圏の高速道路ネットワークの早期整備を求め、同協議会を通じて国並びに政府への要望活動を行った。

さらに、都市力強化委員会を中心に、「ポートアイランド・リボーンプロジェクト」に対する意見・提案に向け、神戸国際コンベンションセンターのリニューアルや神戸 MICE にあり方などについてヒアリングを行ったほか、神戸の観光誘客のコンテンツづくりとして、六甲山・摩耶山の活性化とアクセス強化などを含めた要望書をまとめ、神戸市に提出した。



神戸空港利用者 5000 万人記念セレモニー
(令和 7 年 2 月)

【主な事業内容】

- ① 第 14 回関西 3 空港懇談会 (7 月)
- ② 神戸空港利用推進協議会の運営 (会員数 313)
- ③ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望 (7 月、10 月)
- ④ 六甲山・摩耶山の活性化に向けた要望 (11 月)

2. 大阪・関西万博などを契機とした観光誘客に向けた取り組み

2025 年大阪・関西万博の開催に向け、万博特別委員会を中心に、引き続き会員企業を対象に会報誌やセミナーを通じて情報提供や機運醸成、前売りチケットの購入促進活動を行った。

また、昨年度に引き続き茨城、岩手、新潟などの神戸空港の就航都市に向けた川崎会頭によるトッププロモーションを実施し、現地の知事・市長・会頭らと会談するなど、万博を契機とした神戸への観光や神戸空港の利用について PR を行った。

さらに、今年度は将来の神戸空港の国際定期便の就航を見据えて、ベトナム、シンガポール、タイに訪問し、現地政府や商工会議所、主要企業に向けて万博の PR や神戸のシティセールスに取り組んだ。



海外トッププロモーション (タイ訪問)
(10 月)

また、引き続き神戸を代表する「神戸まつり」や「みなと HANABI」等の集客イベントへの開催協力を行ったほか、阪神・淡路大震災から 30 年の節目を迎えたことから、「神戸ルミナリエ」では、メリケンパーク会場、東遊園地会場、旧居留地会場の「光の看板作品」等、作品の規模を拡大して実施し、まちの魅力発信や賑わいづくり、回遊性向上にも取り組んだ。

また、賑わい創出委員会を中心に、観光関連事業者を対象としてクルーズ船誘致やナイトタイムエコノミーの新たな可能性など最新の観光動向やトレンドを紹介するシリーズセミナーを開催した。

さらに、神戸スポーツ産業懇話会では、「神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会」への機運醸成に向けた取り組みとして、パラアスリートを招いた講演会や大会の視察会を実施した。

また、ジーライオンアリーナ神戸の開業前視察会を開催したほか、本拠地として活動するプロバスケットボールチーム「神戸ストークス」と連携し、認知拡大や観戦者数増加に向けた機運醸成・PR に協力した。

加えて、「ヴィッセル神戸の天皇杯優勝と J1 リーグ連覇を市民と祝う会」の実行委員会に参画し、企業協賛の募集支援や広報活動に協力した。



神戸ルミナリエ（令和 7 年 1 月）

【主な事業内容】

- ① 第 51 回神戸まつりの開催（4 月）
- ② みなと HANABI－神戸を彩る 5 日間－の開催（10 月）
- ③ 神戸ルミナリエの開催（令和 7 年 1 月/来場者数約 225 万人）
- ④ 観光トレンドセミナー2024（全 6 回/参加者延べ 398 名）
- ⑤ 賑わい創出委員会視察会（10 月/広島）
- ⑥ 神戸スポーツ産業懇話会の運営
- ⑦ 神戸 2024 世界パラ陸上競技選手権大会視察会（5 月/参加者数 32 名）
- ⑧ GLION ARENA KOBE & TOTTEI PARK 開業前視察会（令和 7 年 3 月/参加者数 57 名）
- ⑨ ヴィッセル神戸・2 冠達成を祝う会兼壮行会（令和 7 年 2 月/観客数約 3 千人）
- ⑩ 就航都市プロモーション（4 月 青森、5 月 茨城、8 月 岩手、9 月 新潟、10 月 長野、11 月 鹿児島、令和 7 年 2 月 長崎、令和 7 年 3 月 仙台）
- ⑪ 海外プロモーション（7 月 ベトナム、9 月 シンガポール、10 月 タイ）
- ⑫ 2025 年大阪・関西万博セミナー in KOBE（4 月、令和 7 年 2 月）
- ⑬ 海外要人の受け入れ（年間 7 件）、ミッション団受け入れ（年間 2 件）、海外レセプションへの出席（年間 9 件）

IV. 会員参画の推進・組織基盤の強化

1. 会員サービスの充実



永年会員表彰（令和 7 年 2 月）

商工会議所組織のスケールメリットを活かした各種共済及び保険制度のサービスの充実や加入促進に努めたほか、クレジットカード包括代理契約事業「こうべ de カード」や高速道路通行料金の負担を軽減する「ETC カード事業」等、会員事業所向けサービスを展開した。

また、永年にわたり、当商工会議所会員として商工会議所活動並びに地域経済・社会の発展を支えてこられた事業所への永年会員表彰や会員事業所従業員を対象とした優秀功労者表彰を執り行った。

【主な事業内容】

① 共済・保険事業

- ・ 生命共済制度（加入 2,665 社／10,627 名）
- ・ 特定退職金共済制度（加入 899 社／6,719 名）
- ・ 個人拠出制年金共済制度（加入 1,266 名）
- ・ ひょうご共済（110 社）
- ・ がん保険、海外 PL 保険制度、休業補償プラン、フルガード 2000、業務災害補償プラン、ビジネス総合保険 他の募集推進

② 各種会員サービス事業

- ・ こうべ de カード事業（加盟 512 店）
- ・ ETC カード事業（加入 146 社・車両 733 台）
- ・ 会員優待ガイドブック（223 施設）
- ・ 健康診断（受診者 2,214 名）
- ・ 福利厚生代行サービス（加入 CLUB CCI 10 社／ベネフィット・ステーション 7 社）
- ・ 労働保険事務代行サービス（受託 382 件）
- ・ DM 配送代行サービス（利用 48 件）

③ 表彰

- ・ 会員事業所優秀功労者表彰（10 月／被表彰者 181 名）
- ・ 永年会員表彰（令和 7 年 2 月／在籍 50 年表彰 121 社、在籍 30 年表彰 157 社）

④ 神戸商工会館の運営（会議室利用 836 件／入居テナント 11 社・団体）

2. 政策提言・要望活動、調査事業等

地域総合経済団体として、中小企業のビジネス変革と新事業展開、事業継続に向けた持続的支援、神戸空港国際化の推進、次代を担う産業の育成推進に関する施策など計6項目の政策提言や要望をとりまとめ、国、兵庫県、神戸市などに提出するとともに、行政、他団体等との懇談や意見交換を行った。

こうした政策提言や要望活動に地域の景気・経営動向や会員企業の意見を反映させるため、「県政・市政に対する要望アンケート調査」や「経営経済四半期動向調査」を実施した。

また、機関誌に加えホームページやメールマガジン等を通じて当商工会議所事業の周知を行ったほか、国・行政の施策等の情報提供に努めた。

さらに、阪神・淡路大震災から30年を迎えるにあたり、「ひょうご安全の日推進県民会議」に参画し「震災30年事業キックオフシンポジウム」などの記念事業の実施や、例年京都で開催される「関西財界セミナー」を20年ぶりに神戸へ誘致し、企業・地域の防災力向上やポスト万博を見据えた関西の未来図について討議を行った。



令和7年度神戸市政に対する要望（9月）

【主な事業内容】

① 政策提言・要望

- ・ 地元建設業並びに関連事業者の振興に関する要望（5月）
- ・ 2024年度関西圏におけるライフサイエンス産業振興にかかる要望（7月）
- ・ 令和7年度神戸市政に対する要望（9月）
- ・ 関西創生のための高速道路ネットワークの早期整備に関する要望（10月）
- ・ 令和7年度兵庫県政に対する要望（10月/兵庫県商工会議所連合会）

② 意見交換会・懇談会

- ・ 関西経済連合会との懇談会（4月）
- ・ 北陸・関西連携会議 第12回会頭会合（9月）
- ・ 関西広域連合と関西経済界との意見交換会（令和7年1月）
- ・ 第64回関西財界セミナー（令和7年2月）
- ・ 神戸市との懇談会（令和7年3月）

③ 調査

- ・ 経営経済四半期動向調査（四半期ごと4回/対象106社）
- ・ 日本商工会議所 LOB0（早期景気観測）調査への協力（対象2社）
- ・ 兵庫県政・神戸市政等に関する要望アンケート調査（全会員対象）

④ 広報

- ・ 神戸商工だより（10回発行）
- ・ ホームページによる情報提供（<https://www.kobe-cci.or.jp/>）
- ・ メールマガジンによる情報提供（月2回発信/登録者3,910件）
- ・ FAX 同報通信（会員事業所向け月2回発信）

3. 会員組織の維持拡大と財政基盤の強化



新会員懇談会（令和7年3月）

業種・業態・規模を超えた人的ネットワークの形成・拡大を図るとともに、当商工会議所が行う地域経済活性化事業への理解や参画等を促進するため、「会員ミーティング」や「新会員懇談会」「支社長・支店長懇談会」を開催した。

また、多様な交流を図るため女性会や地区別会員交流会、異業種交流会を運営した。

なお、令和6年度末（令和7年3月末）現在の会員数は、11,362会員となり、前年度末比で294会員の純減となった。

【主な事業内容】

- ① 会員ミーティング（令和7年2月/参加者191名）
- ② 新会員懇談会（令和7年3月/参加者122名）
- ③ 支社長・支店長懇談会（令和7年2月/参加者49名）
- ④ 女性会（月例懇談会8回/交流会2回/参加者延べ358名）
- ⑤ 企業広報研究会（会員64社/定例会4回/社内報研究小グループ3回）
- ⑥ 令和7年新年合同祝賀会（令和7年1月/参加者1,000名）
- ⑦ 地区別会員懇談会・交流会（計4回/参加者延べ63名）
- ⑧ 支部異業種交流会
 - ・ 東神戸支部 東金会（例会12回） / 経営塾（例会3回）
 - ・ 西神戸支部 長田活性化研究会（例会9回）

【会 員 数】

11,362 会員（令和7年3月末現在）



神戸商工会議所

The Kobe Chamber of Commerce and Industry